

# 別府市立緑丘小学校

## ＜学力向上プランの概要＞

### 【授業改善】

- 児童につけたい力を把握し取り組みの指標の設定を行う。そして、子どもの実態に即した、「課題の設定」、「思考を深化・拡充する交流活動の工夫」を行い、それを短期に検証しながら質の高い授業を目指す。

### 【補充学習】

- 重点指導項目を明確にした補充指導を朝・放課後・休み時間及びスキルタイム(みどりタイム)に実施し、基礎基本の定着を図る。

### 【家庭学習】

- 「家庭学習のてびき」にそって、家庭学習の時間の確保と習慣化を図り、提出状況や理解度を毎日のチェックで把握し、子どもの実態に応じて個別指導等を行う。

## ＜効果のある取り組み事例＞

- ① 全教職員が、全学級で「緑丘の学習過程」をベースにした『授業改善5点セット』に取り組み、「子どもが考えたい課題」と「思考を深化・拡充する交流活動」を設定した授業を目指す。
- ② 授業規律・授業の質については、毎月セルフチェックをして、自分の授業を振り返り、改善していく。
- ③ 毎日、静かな朝読書10分間の完全実施と放課後のスキルタイム(みどりタイム)を設定し、重点指導項目を中心に補充指導に取り組ませる。  
※問題データベース、学習探検ナビプリント、フォローアップシート等を活用する。
- ④ 年6回のチェックテストを実施し、子どもの弱点の把握と補充により、基礎基本の定着を図る。  
※明らかになった弱点は、長期休業中の宿題として出し、定着を目指す。
- ④ 毎日、家庭学習の提出及び理解状況をチェックして指導する。内容については「家庭学習のてびき」に設定した学習時間に応じているかを考慮し、工夫して出すようにする。

【緑丘小学校の学習過程】

学習過程	学習活動と内容	指導上の留意点
1 つかむ	めあて【目標】・問題に出会う ○素材と出会う ・おもしろそう ・やってみたい ・調べてみたい ○めあてに向かって、既存の知識と経験から、考える。やってみる。	・子どもがやってみたくなるめあて（目標）と活動を考える。
	課題をつかむ ○やってみて、うまくいかなかったところ(困り)を出し合い、そこをこれから解決していく課題とする。	・ <u>めあて達成のための解決方法をさぐる問い（本気で追求する課題）として、板書に位置づける。</u>
2 考える	課題に対する自分の考えをつくる（自力解決） ※すぐに自力解決にいけない子がいる場合 ○持っている知識や技能など既習事項を総動員して課題に対する自分の考えをつくる ・既習事項（前学年の学習事項・ノート・掲示物・経験・操作等） ★『こうやったら、うまくいくのではないか』という仮説(見通し)を全体で考え、出し合う。	・根拠のある考えができるまで、十分時間を与える。 ・ <u>自分の考えを説明しやすいように、根拠を添えてノートに書かせる。</u> ★いくつかの解決方法を出させ、その中から子どもに選択させる。
3 伝え合う	出し合う 聞き合う 吟味する 見直す。 深める ○ <u>自分の考えを、友達に納得させる説明の仕方を工夫・練習する。</u> ・考えを出し合い、自分の考えと比較して、 <u>友達の考えに納得するまで聞き合う</u> ・自分の考えと似ているのは？ ・どの考えがいいかな？ ・友達の考え方のよさや自分に足りないところを見つけて、自分の考えの不備を自覚し、自分の考えを見直してよりよいものにしていく。 ・あれっ？ おかしいな？ ・どういうこと？	・事実のそろえ方や事実の解釈の仕方の違いを板書に位置づけ、友達の考え方との違いを見せ、各自の考え方の不備を自覚させて、考えを見直させる。 <伝える場の工夫> ・全体討議→小グループ(ペア) ・小グループ(ペア)→全体討議 <伝える手立ての工夫> ・板書・教師の切り返し・教具の工夫・チョークやノートを使って等
4 まとめる	新しい見方・考え方をまとめる。 ・はじめの考えと、どのように変わってきたか、又は発見したこと、わかったこと等をノートに整理する。 ・なるほど！！ ・だったら～	・課題に対する <u>新しい見方・考え方をまとめ、その高まりを評価し、意欲化を図る。</u>
	より高いめあてに挑戦する	・子どもがもっと挑戦したくなるめあてを提供する。